

余震多発の原因＝税金で食ってる反逆者が墓穴を掘ってる！！！！2016/4/19, 20, 24

これが公務員日本人！、多数納税者迷惑を何と想ってるのでしょうか？。19, 20日に看過できない複数重大ネット記事に遭遇、緊急報告します。プレート歪解放エネルギーでの既成地震学者では今回熊本連発余震を説明不可能、化学物理学者も招請し、地下核融合地震の緊急仮想診断を！！

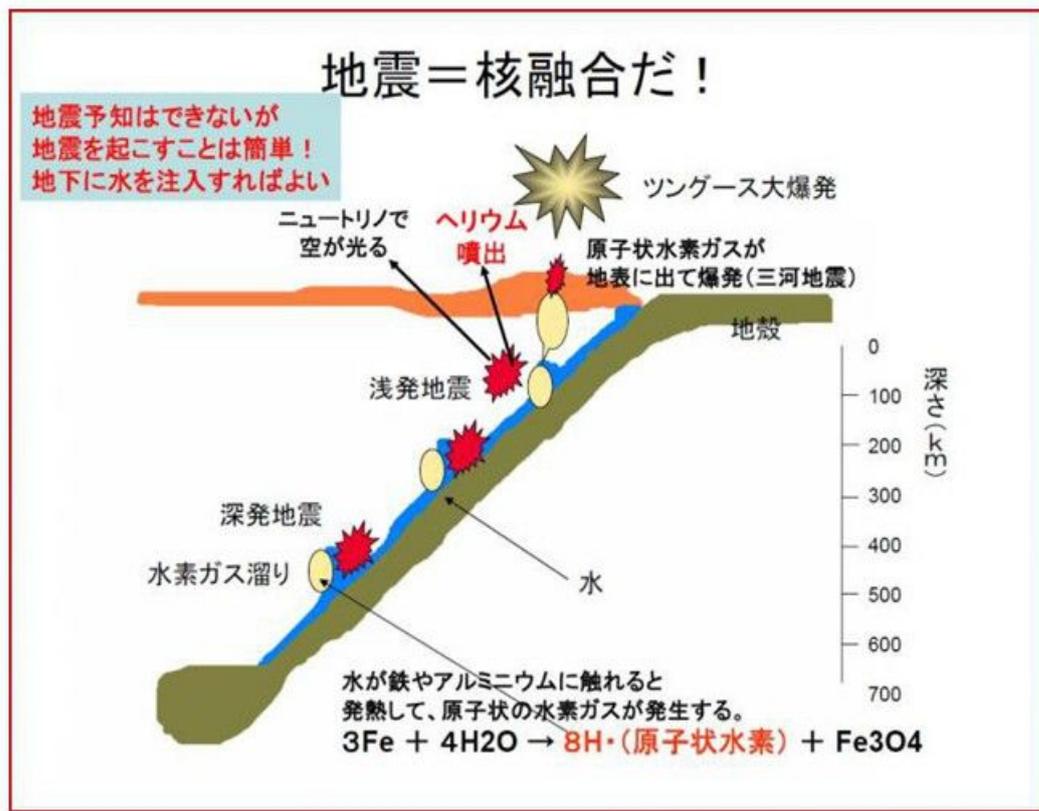
熊本は湧水の都市、しかも断層帯も複数抱える、深度ボーリングで注水路、計画震源近傍で人工爆発をやれば連発地震が、**注水で地震誘発は経験則として著名です！！**

下記ではまさかの(常温)核融合が論題に、常識では超まさかだが、筆者過去理論経験でそれは本物ですとの証言がこの報告趣旨ですく責任者＝日本化学会に問い合わせを。

[1]: 余震はまだ止まらない？ 震源の深さ 10KMが教える連続地震の真相？

<http://kagefumi811.blog.so-net.ne.jp/2016-04-18-2>

◆誘発地震を目的とした人工地震により地下の水脈を利用した地震発生の可能性が高い。下記の図解を見て頂きたい。



## [2]:注水地震仮想診断:

(1)注水地震を仮想診断すると注水震度エネルギー自身は格段大となる心配は少ないだろう、通常核爆弾は一般的プレート歪エネルギーに由来の地震エネルギー値には及ばない。例外が過去最大核爆弾ツァーリ・ボンバ=100メガトンの爆発では  $4.2 \times 10^{17}$  ジュール=M8.5。

\*1マグニチュード増はエネルギー31.6倍。

マグニチュード4.0=0.151E-04(TNT megatons)=0.671E-01(Hiroshima bombs)

マグニチュード5.0=0.477E-03(TNT megatons)=0.151E-01(Hiroshima bombs)

マグニチュード6.0=0.151E-01(TNT megatons)=0.671E+02(Hiroshima bombs)

マグニチュード7.0=0.477E+00(TNT megatons)=0.212E+04(Hiroshima bombs)

<http://www.jclahr.com/alaska/aeic/magnitude/energy.txt>

(2)マグニチュード4.0で0.151TNT megatons、これはとてつもない爆弾量になる、注水小地震だと核融合と言えど地中浸水の水が原料だから、大規模になるのは想像が難しい。

(3)それが+残余プレートエネ誘発地震に作用だと、プレート歪エネだから大きくなるが、短期間で余震頻発ではプレートエネ一層減少に作用するはずだろう、長期的には大地震は起きにくくなる。

(4)湧水都市熊本地震が注水地震とすれば、まさかだが小余震は止まらない?!、

\*米国デンバー注水地震では工場排水が停止するまで止まらなかった!!!。

もし長期的に注水震源深度が深くなれば地表震度は小さくなる。今後の観測が将来予測につながるだろう。注水地震地下核融合での放射能地表漏れ?、一応は専門家に相談を。

(5)他方気候変動進行で九州地方は大雨増大傾向、地下浸水はこれまた注水小地震誘発??、

\*通常は雨水が10km深度まで浸水する事は難しいはずだが、

5~6Mで家屋破壊があるのだから、当面は耐震避難所-野営テントが最善になる。

過去一週間の余震異常多発は注水地震説だけが説得力を持つ、この仮想診断に立てば熊本は今後長期の余振動に耐久する覚悟が必要になる。自衛隊基地震源は看過できない国家反逆罪だ、緊急国会審議を、

[3]:高電子濃度触媒空間での常温核融合実際と理論(筆者)

(1)1989年3月23日にイギリス・Mフライシュマン教授とアメリカS・ポンズ教授が、重水を満たした試験管にパラジウムとプラチナの電極を入れ電流を流したところ、電解熱以上の発熱(電極金属が一部溶解したとも)、核融合時発生トリチウム、中性子、ガンマ線を検出したとしている。

<http://www.lenr-canr.org/acrobat/Fleischmanelectroche.pdf>

国際常温核融合学会

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E5%B8%B8%E6%B8%A9%E6%A0%B8%E8%9E%8D%E5%90%88%E5%AD%A6%E4%BC%9A>

公開実験開催期間中5日間連続で平均20ワットの出力を公開し欧米のメディアに取り上げられた。

(2)高濃度電荷一様触媒空間では静電反発力消滅、自由粒子衝突で反応可能(化学会却下論文)

<http://www.777true.net/img0010-General-Analysis-on-Room-Temperature-Nuclear-Fusion.pdf>

<http://www.777true.net/Real-Image-of-quantum-Chemical-Reaction.pdf>

高濃度一様電荷密度触媒空間では静電反発力消滅は引用文献からの純計算証明(1989)、後に実用化困難が判明、常温核融合ブームは下火に。下記は前期より簡明な計算証明、

(3)導体金属表面は高電子濃度<ピカピカは電子光反射反応>

**超高压下ではすべての物質は金属になるとも考えられています!!!**<阪大極限科学>

[http://www.istec.or.jp/web21/pdf/15\\_11/J14.pdf](http://www.istec.or.jp/web21/pdf/15_11/J14.pdf)

震源近傍は超高压地下、その岩盤空間亀裂面は金属(電荷一様空間)触媒化する

(4)結論=以下見解に賛同します:

熊本は湧水の都市、深度地下に水を注げば地震が起こせる(連発余震)。**馬鹿が墓穴を掘ってる!!!**

(a)誘発地震を目的とした人工地震により地下の水脈を利用した地震発生の可能性が高い。

<http://kagefumi811.blog.so-net.ne.jp/2016-04-18-2>

(b)昨夜から今朝にかけて37回の人工地震の震源地は、陸上自衛隊高遊原分屯地か!

[http://blog.goo.ne.jp/zabuyamato/e/542ded0ad154a580e2e1fb44554f1d30?fm=entry\\_aws](http://blog.goo.ne.jp/zabuyamato/e/542ded0ad154a580e2e1fb44554f1d30?fm=entry_aws)

昨夜から37回もの人工地震の震源地は、陸上自衛隊高遊原分屯地のようです。グーグルマップと地震位置情報で確認してみてください。

(c) **3.15静岡東部地震=富士山の自衛隊演習場の直下地震だった(2011/3/15)。**

[http://richardkoshimizu.at.webry.info/201104/article\\_69.html](http://richardkoshimizu.at.webry.info/201104/article_69.html)

\*震源震度10Kmは掘削深度限界距離と言われる、今回もこの深度が多発です。

(d)原発のそばでCO2地下圧入実験:文字どおり墓穴を掘る世紀の愚行だ!

[http://blogs.yahoo.co.jp/hisa\\_yamamot/23960550.html](http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/23960550.html)

\*海洋開発地球号は過去に中越、東北、更に今後は南海トラフで掘削計画、

## 付録 1：電荷一様空間での電界消滅＝静電気力の消滅融合反応。

①  $\square \phi = -\rho / \epsilon . \rightarrow \square \mathbf{E} = -\text{grad } \rho / \epsilon .$

電荷空間密度一様が起きる結果、電荷密度空間傾斜 =  $\text{grad } \rho = 0$ 、 $\mathbf{E} = 0$  <電界消滅>。  
核融合困難理由は正電荷の核同士を衝突させる再にも生じる近距離での強い静電反発力、  
電界  $\mathbf{E} \sim 0$  だと、それが消えて自由粒子として衝突して融合反応確率が高くなる、  
古典イメージでは反応対応 2 個粒子間には常時反発力の絵になるだろうが、実際は  
物質移動は双極子トンネルを通じての瞬時離散空間移動＝量子トンネル効果です。

<http://www.777true.net/Real-Image-of-quantum-Chemical-Reaction.pdf>

## ②超高压高温地震層での常温核融合発生の可能性：

(a)深度地下は重水分離の自然フィルター。

比重の重い重水は軽水より、地下浸透が早いだろう。震源域は10km～50kmと深い。

(b)蒸発高温環境では**重水は濃縮**する。

0.015% = 1/700 = 重水の含有率。わずか0.015%だが重水素は水素の2倍の質量があり、水素分子は重水素を含んだ水素分子に比べて蒸発しやすいので、水素を液体にして蒸発させると液相の方に重水素を含んだ水素分子が多く残る。特に液相、固相、気相が共存する三重点で蒸発させると、分離されやすい。

[http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat\\_detail.php?Title\\_Key=16-03-03-05](http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat_detail.php?Title_Key=16-03-03-05)

(c)超圧力下(どの程度??)では、あらゆる物資が金属化する。

金属類似の等方向性結合＝”超稠密原子配列(玉の最大詰め込み形態)”が体積圧縮作用超圧力下で強制的に起こるので絶縁体の金属化(自由電子非局在＝金属結合)が出現する。

\* 川村肇, 固体物理学 (p19), 共立出版,

[http://www.cgst.osaka-u.ac.jp/research\\_pres-j.html](http://www.cgst.osaka-u.ac.jp/research_pres-j.html)

(d)金属表面は電子密度濃厚でクローン反応障壁を弱めて**反応促進触媒空間**になる。

## 付録 2：深度地下での超高压岩盤**亀裂**浸入水(重水蒸気)は面触媒空間上に。

2次元**亀裂**面に薄面分布するので**大規模爆発**になりにくいだろう。之には証明が必要です。

\*通常のプレート圧カスベリ地震とエネルギー爆破地震では初動縦波 P 波有無が判定条件として有名です。注水地震は爆破地震になるはずだが、**地震波記録計とデジタルデータ**は各地方行政機関等に**一般公開表示**すべきです。企業等も自衛の為に証拠地震計を持った方が良い。

付録3：新潟県中越(&沖)地震～注水地震嫌疑

新潟県中越地震 2004 年 10 月 23 日 <a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E6%BD%9F%E7%9C%8C%E4%B8%AD%E8%B6%8A%E5%9C%B0%E9%9C%87">https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E6%BD%9F%E7%9C%8C%E4%B8%AD%E8%B6%8A%E5%9C%B0%E9%9C%87</a>	新潟県中越沖地震 2007 年 7 月 16 日 <a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E6%BD%9F%E7%9C%8C%E4%B8%AD%E8%B6%8A%E6%B2%96%E5%9C%B0%E9%9C%87">https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E6%BD%9F%E7%9C%8C%E4%B8%AD%E8%B6%8A%E6%B2%96%E5%9C%B0%E9%9C%87</a>
M=6.8;震度=7, 震源深度=13km.	M=6.8;震度=6強, 震源深度=17km.
余震異常多発(注水地震嫌疑)	東京電力柏崎刈羽原子力発電所3号機の屋外にある変圧器で火災が発生
<p>原発のそばでCO2地下圧入実験:文字どおり墓穴を掘る世紀の愚行だ!</p> <p><a href="http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/23960550.html">http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/23960550.html</a></p> <p>震源地近くの長岡市で、CO2削減のため、液化炭酸ガス一万トンの地下注入実験が2003年7月から一年半かけて行われている事実(経済産業省の(財)地球環境産業技術研究機構が実施)</p>	

付録4：熊本県熊本地方、熊本県阿蘇地方、大分県西部、大分県中部の震度1以上の最大震度別地震回数表

[http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/2016\\_04\\_14\\_kumamoto/yoshin.pdf](http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/2016_04_14_kumamoto/yoshin.pdf)

※16日02時までは熊本県熊本地方で発生した地震の回数であり、02時以降は領域を広げてカウントしています。  
 ※この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがあります。

